

まだある

盛岡が舞台の作品

小説 君に舞い降りる白



どんな作品? 失恋から立ち直れない大学生の修二は、透き通る白い肌の雪衣に引かれていきますが——。盛岡を舞台としたラブストーリー。

作者から 盛岡には大学進学から5年間住みました。学が楽しさも働く大変さも人を好きになることも、みんな盛岡で知りました。ぼくがぼくになった街でした。盛岡で暮らさなかつたら小説家になっていなかったでしょう。北上川と中津川が街を貫き、凜とした空気がある盛岡が大好きです。作品を読んで何かきれいなものを感じられたなら、それこそぼくが盛岡という街から受け取ったものなのです。

出版/関口尚集英社文庫



小説 花木荘のひとびと

どんな作品? 盛岡駅から歩いて15分、北上川沿いにある小さなアパートで、少し不器用な住民たちと、しっかり者の管理人が織りなす物語。

作者から 都市と自然のバランスがよく、落ち着きがある街並みの中に、迷子になった時に目的地にまでわざわざ連れていってくれるほど親切な人が多く住んでいるという印象がある盛岡。街は人を作り、人が街を作るんだという盛岡の魅力を感じたいと思ってこの物語を書きました。そういった盛岡の印象を中から感じてもらえたらうれしいです。

出版/高森美由紀集英社オレンジ文庫



【問】都市戦略室 ☎613-83770

Pick up 01 影裏 えいり

盛岡の美しい川面が映し出す複雑な二人の心情

芥川賞を受賞した沼田眞祐さんの盛岡を舞台とした作品を、市出身の映画監督である大友啓史さんが映像化した作品。撮影はすべて県内で行われ、「オール岩手」を合言葉に制作されました。生田湧水や米内川上流での散策といった自然豊かな風景や桜山かいわい、さんざ踊りなどが主演の綾野剛さんと松田龍平さんの背景として映し出され、その場の雰囲気を感じ取ります。大友監督は「当初、作中でも重要な川でのシーンは市外で撮影することを想定していましたが、米内川上流の風景があまり美しく、ここでの撮影を決めました」と話してくれました。※関連12ページ



2月14日(金)公開 ©2020「影裏」製作委員会
祝 松田龍平さん 第2回海南島国際映画祭 コンペティション部門 ベストアクター受賞

影裏 撮影スポット



川釣りなどに向かう2人のシーン(上米内字周辺)



作中のシリアスな雰囲気を感じさせる夜の桜山かいわい(内丸)



印象的な場面として登場する盛岡さんざ踊り(中央通)

そして、生きる 撮影スポット



主人公が友人と何気なく語る日常を映し出す葺出町(中ノ橋通一)



主役2人が語り合うシーンが撮影された愛宕山展望台(愛宕下)



冒頭部分で登場する開運橋と北上川(盛岡駅前通)

映画と本でみる もりおか

PRESENT

「君に舞い降りる白」「花木荘のひとびと」「素直なカラダ」の作者サイン入り単行本をそれぞれ1人にプレゼント! 【応募方法】▶市公式ホームページの応募フォーム:1月21日0時まで受け付け。応募は1人1回まで。▶はがき:希望する作品名1つと住所、名前、年齢、電話番号、この特集の感想、自分の好きな盛岡を記入し、☎020-8530(住所不要)市役所都市戦略室へ郵送してください。1月21日0時消印有効。応募は1人1通まで。当選者発表は、プレゼントの発送をもって代えます。



ドラマ・映画・小説で描かれた盛岡の日常

開運橋や北上川、岩手山の風景が印象的に登場する作品。盛岡に住む人なら誰もが見たことがある場所が映し出され、自然に映画に入り込み、主人公の視点で追体験できます。主演の有村架純さんは、ドラマ放送当時に市内で行われたトークショーで、「本当に土地の力に助けられました。季節によって聞こえてくる音が匂い、感じるものが全然違う。愛宕山の展望台とか、駅近くの開運橋とか、川沿いの道を自転車で行ったりとか、皆さんが見慣れている場所がたくさん出てくるので、そういったところを楽しんで見ていただけたら」と話してくれました。



「連続ドラマW そして、生きる」DVD-BOX 発売日:令和2年3月25日(水) 価格:11,400円+税
出演:有村架純 坂口健太郎 脚本:岡田恵和 監督:月川翔 音楽:村松崇継 ©2019 WOWOW INC.

盛岡ブランドフォーラム 2020 開催

1月25日(日) 13時半~16時 プラザおでっ(中ノ橋通一)

盛岡ブランドフォーラム2020は、今号の特集にちなんで、「映画や本の舞台としての盛岡の魅力」をテーマに、皆さんと一緒に盛岡の楽しみ方を考えます。申し込み方法など詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。【広報ID】1007572

漫画 素直なカラダ

出版/東野柚穂 東野柚穂



どんな作品? 盛岡に住む主人公が鍼灸を知り、その奥深さへはまっていきます。からだに不調を抱える現代人に贈る東洋医学漫画。

作者から 東日本大震災を経て、心に決めた事がありました。それはふるさと盛岡に恩返しをする事です。私にできる事は「漫画」でした。私を育み学びを与えてくれた盛岡の街とそこで生きる人びと、そして鍼灸の世界を描きいろいろな人に見てもらおう事で、盛岡の今を伝えることができればと思っています。



漫画



3月のライオン

監督/大友啓史(映画) 出版/白泉社

推薦コメント この作品の中で岩手・盛岡が舞台となる場面の共通点は再出発、もしくはそのきっかけをつかむことだと感じました。主人公である桐山は将棋界の絶対王者である宗谷名人と懸温泉での対局を経て、より深い将棋の世界へ足を踏み入れ、ある女の子は東京から岩手に転校することで、いじめという過去を乗り越え、前を向こうとします。この土地には人の背中を押す力があるかもしれません。

大友監督の母校から 盛岡一高2年/伊五濑綾子

漫画 六三四の剣

出版/村山もとか



推薦コメント この作品の素晴らしさは「岩手山のある街、盛岡」を打ち出している点です。主人公の少年、六三四に父は「でかくなれ、岩手山のようにでかい人間になれ」と語り、その言葉を胸に六三四は剣道日本一を目指します。どんなときにも盛岡を見守る岩手山が、六三四の心の支えになるのです。

市内で読書会を開催する団体から Reading-Labいわて主宰/小笠原康人

